



NPO 特定非営利活動法人

埼玉森林サポータークラブ コミュニケーション・ニュース

【令和6年10月1日 発行（季刊） VOL. 99】

「令和6年 夏季研修会報告」

今年の夏季研修会を8月21・22日の二日間の日程で行った。研修の主目的は栃木県日光市足尾町足尾銅山跡地の森林再生事業の視察である。

日本の公害の原点と言われる足尾鉍山の公害が何故発生し、どの様な被害を及ぼし、そして荒廃した森林をいかにして再生してきたかを自分達の目で見て体験学習することである。森づくりや森の再生を活動目的とするサポータークラブには相応しい研修と言える。

1日目は4台のクラブ員の車に分乗した14名（後で15名に）が群馬県みどり市の「富弘美術館」に集合した。星野富弘氏は口で啜えた絵筆で絵画と詩を発表し続け惜しくもこの4月に逝去された。氏は24歳の時不慮の事故で四肢の自由を喪失したが、電動車椅子生活の中から生まれた独自の詩画の世界と、その不撓不屈の精神力は多くの人を魅了し感動を与えてきた。昼食後、主目的地の「足尾環境学習センター」に到着。「足尾環境学習センター」は足尾鉍山の発展の歴史とそれに伴って起こった山林の荒廃と公害発生、そして再生の歩みを映像や大パノラマ、精巧なジオラマ、そして様々な展示写真、資料により、また、解説員の説明によって学習できる施設である。クラブ員も熱心に質問して真摯に理解に努めていた。

◎足尾銅山は実はたった一つの山で成り立っていたこと。

◎銅精錬の際の亜硫酸ガスの煙害以外に坑道の坑木、燃料の薪炭にするための山林の大規模乱伐、生物の生育を阻害する酸性雨が被害を拡大した。

◎荒廃した山の雨による大規模な土砂流出や鉍毒水による河川の水質悪化が下流の広範囲の村々に農業、水産業、住民の健康に極めて甚大な被害をもたらした。

◎渡良瀬川の深い渓谷は亜硫酸ガスが滞留しやすい地形であり、そのため尾根の反対側の日光方面にガスが流れずに奇跡的に被害が起きなかった。

◎曖昧な企業の原因説明や責任、戦時国策優先のために不十分な住民救済。

◎約400haの山地を負の遺産として後世に伝えるため敢えて植栽せずに荒廃したまま残していること・・・などなど、教科書には書かれていないことを知ることができた。

平成元年に銅精錬が操業停止されてから、国、県、そしてNPO団体により荒廃した山林の再生事業が続けられている。

◎それはまず、山に草を生やし崩落防止柵を作り、土壌を安定させることから始まった。

◎肥料と種を混ぜた植栽盤を人力で山上に運び上げるきつい作業であったこと。

◎空中散布や植栽盤の改良など様々な工夫努力があり、森林が再生されつつある。

一度森林を荒廃させるとその被害は甚大であり、その再生には莫大な時間、費用、労力を要することを実感した。「役所は予算や計画に縛られるが、規模は小さくともたゆみなく活動を続けていくボランティアは非常に貴重です」と言う解説員の言葉が重い。

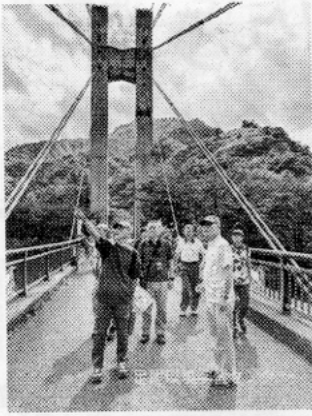
続いて、足尾銅山資料館に向かい、再現された坑道展示を視察した。

坑道を歩き、総延長約1200キロの坑道を支えるため膨大な坑木が使用されたことをあらためて実感。視察を終え日光のホテルに宿泊。

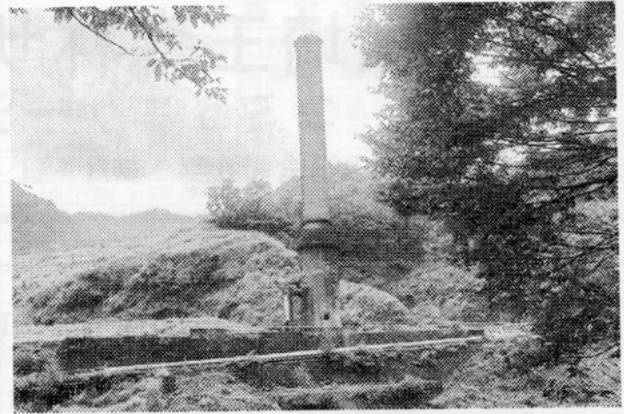
二日目、日光の「日光田茂沢御用邸記念公園」を視察。江戸・明治・大正の建築様式を持つ建築で国の重要文化財になっている「田茂沢別邸」は大正天皇の静養のために作られたものである。当時の建築様式や皇室文化を目の当たりにし、随所に日本の精緻な木造建築の粋を凝らした広大な内部に目を見張る。この後、一つの班が車のエンジントラブルで別行動となったが、その他の班は大谷石採掘場跡の資料館を見学し、全員無事に帰着し研修を終了した。

大変実り多い研修会であり、設営に尽力された事務局に感謝申し上げます。

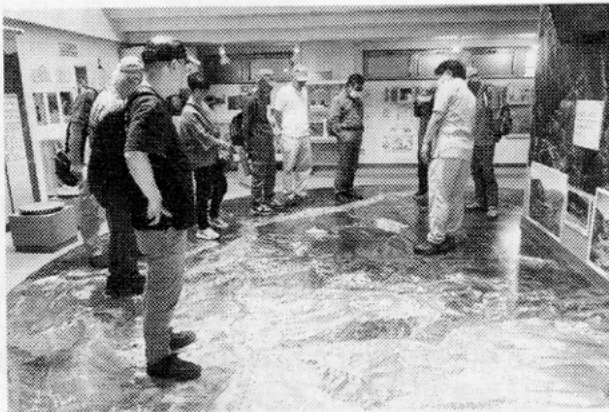
会長 霜触 賢



足尾環境学習センター



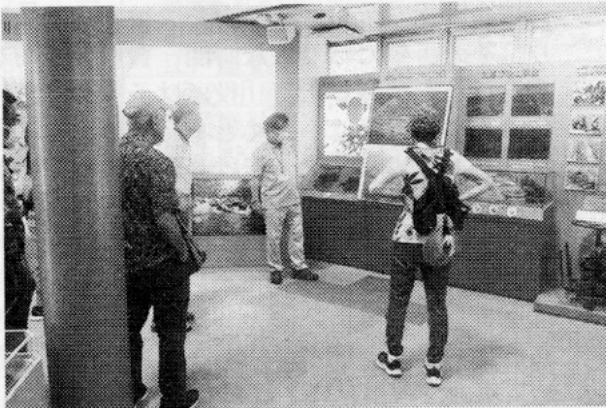
亜硫酸ガスの煙害を引き起こした煙突



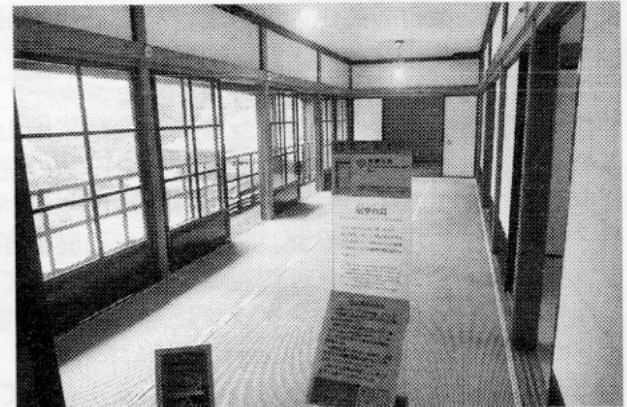
足尾大パノラマ上で解説員から説明を受ける



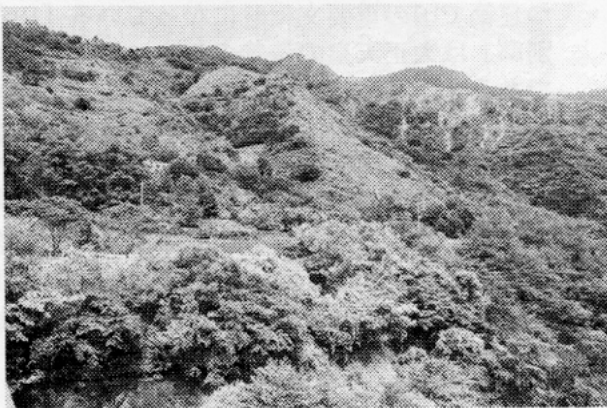
足尾銅山跡 400年にわたり掘り開いた坑道の総延長は1,234km (東京-博多間) に達するとの事



企画展示コーナーで解説員から説明を受ける



国指定重要文化財 日光田母沢御用邸記念公園内部



見事に再生された足尾の森



大谷石採石場にて

活動記録 (2024年6月・7月・8月)

月日	曜日	フィールド	内容	参加数
6月1日	土曜日	江戸屋弘東園	植栽	15
6月2日	日曜日	高谷の森	下草刈り	中止
6月3日	月曜日	浄国寺の森	伐採木の処理・集積・支障木の整理	5
6月4日	火曜日	浄国寺の森	伐採木の処理・集積・支障木の整理	4
6月5日	水曜日	浄国寺の森	伐採木の処理・集積・支障木の整理	4
6月6日	木曜日	浄国寺の森	伐採木の処理・集積・支障木の整理	4
6月8日	土曜日	浦和コミュニティセンター13会議室	通常総会	27(92)
6月9日	日曜日	越生ふれあいの里山	除伐	5
6月12日	水曜日	浄国寺の森	植栽	12
6月15日	土曜日	イオンレイクタウン(越谷市)	全国植樹祭1年前イベント	10
6月16日	日曜日	龍ヶ谷の森	下草刈り	5
6月23日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	中止
6月23日	日曜日	くるみ小屋	下草刈り	4
6月30日	日曜日	寄居風布の森	間伐	14
7月6日	土曜日	笠幡の森	笹刈り・倒木整理	中止
7月7日	日曜日	カタクリの里	下草刈り	11
7月14日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	中止
7月17日	水曜日	桶川市加納屋敷林	小活動	8
7月20日	土曜日	寄居風布の森	間伐	12
7月21日	日曜日	くるみ小屋	水道メンテナンス等	11
7月28日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	11
7月31日	水曜日	鴻巣・赤城屋敷林	小活動	8
8月4日	日曜日	寄居風布の森	下草刈り	15
8月18日	日曜日	くるみ小屋	草刈り	10
8月21日	水曜日	足尾荒廃地緑化事業地等	研修会	15
8月22日	木曜日	田母沢御用邸公園・大谷資料館等	研修会	15

自然のたより(67) オオタカの話

川越市の南部には武蔵野の面影を残す雑木林が広がっていて、「(仮称)川越市森林公園」計画地に指定されている40haほどの平地林があります。もう25年もこの計画は塩漬けでちっとも進んでいないのですが、樹林そのものは残っています。ここはオオタカの営巣が結構あって、これまで何度も散策する人々を感動させました。今年も3月頃からオオタカの鳴きかわす声が聞かれ、皆が楽しみにしていました。どうやら営巣を始め産卵したらしいのが4月下旬頃、ヒナが孵って顔を出し始めたのが5月末でした。この頃になると連日カメラマンが押し寄せ、でかいカメラならではの立派な映像を見せてもらいました。彼らの見立てによるとどうやらヒナは3羽らしいと。3羽育てるのは大変よね～という声。写真①は小さな産毛のヒナが見えます。これが5月30日で、写真②はもう幼鳥で、6月20日です。どんどん大きくなっています。あとの2羽はどうしたのでしょうか。実はこの頃大変なことが起こっていたのです。写真③は6月15日の映像。何と、父親のオオタカが死骸になっていました。何にやられたのか？これから母親だけで子育てするのはほぼ不可能に近い。見守っていた皆に戦慄が走ります。写真④は6月22日、母親だけで幼鳥は見当たりません。その後、その母親は2度と姿を現すことはありませんでした。

自然界は厳しいです。せっかく孵ったヒナが大空に羽ばたくことはありませんでした。いつも営巣が成功するわけではない。カラスはオオタカを追い回します。森の中でどんなバトルがあったのか、想像してみてください。
 <No. 647 賀登 環 川越市>



写真① ヒナ5/30



写真② 幼鳥6/20



写真③ 父親の死骸 6/15



写真④ 子のいない巣を見つめる母親 6/22

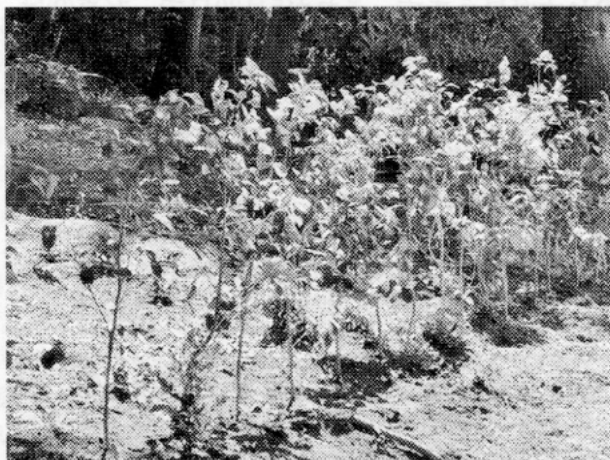
■6月21日（金）岩槻区「浄国寺」での活動
令和6年度計画外の作業実施

浄国寺の森は、保安林に指定されているが、近年、境界際の樹木が大木となり、かつ、一部が支障木となり、境界外の電線や家屋に、その枝葉や、枯れ枝等が落下するなどし、地域の自治会等からその対策が要望される様になった。3月に浄国寺、森林サポータークラブ、伐採業者間で現地調整を行い、4.16から4.18の間に第1次伐採と、6.3から6.6の間に第2次伐採を、次いで6.12に伐採により空地となった箇所に、ドウダンツツジ100本と山椿100本の植樹を行った。クラブ員は、酷暑にもかかわらず、伐採時には、集積場所の確保等のため、毎日4から5名が参加（延べ30名）した。植樹の際は、12名が参加して、ドウダンツツジ及び山椿の植樹を行った。周辺住民から、「桜は残して欲しい」とか、ドウダンツツジは「秋の紅葉が楽しみね」の声が聞かれました。

〈世話人 No. 707 菅谷 榮 さいたま市〉



ドウダンツツジの植樹



山椿の植樹

■8月4日（日）寄居町「風布の森」での活動

寄居町の最高気温が37.2度を記録したこの日、15名で風布の森の下草刈りを行った。蜜柑畑を見下ろす高所で時折涼しい風が吹くとはいえ、少し動けば早くも汗だく。熱中症が危険だから早めに切り上げて…というのは半ば口実で、この日のメインイベントは恒例の夏のお楽しみ「流し素麺&バーベキュー&冷やし西瓜」。「浦高百年の森」の施設をお借りして、熱いものは熱く、冷たいものは冷たく、本当に美味しく、全員満腹。準備・運営して下さった皆様、ありがとうございました。もう、来年の夏が待ち遠しい。〈No.782 宇都宮裕子 さいたま市〉



■9月7日（土）長瀬町「宝登山の森」



植樹後15年が経過しました

宝登山の森の活動は植樹後15年が経過したという事で、年一回山の状態を見守る活動となりました。この日も猛暑でしたが10名が参加し、1班は作業道の草刈り。1班は森に分け入り木々に纏わりついた蔓の除去等を行いました。やや秋めいてきたという事で大勢のハイカーと遭遇しました。〈No. 654 沢田 正 川越市〉

■9月15日（日）小川町「高谷の森」活動

9月も半ばというのに暑い日が続き、特に昨日の風布の活動の翌日で、2日連続参加者が8人中5人で、皆結構バテていた。また、9月11日の3人の事前活動の時にキイロスズメバチに3カ所も刺されてしまい、やっと腫れが収まったばかりで、気も進まない中の活動であった。休憩と水分補給を十分とりながら、蜂に注意しながらも、作業道の草刈りを行った。蜂に刺されず無事終了。感謝、感謝であった。

〈No. 522 岡田豊国 東松山市〉



緑の森活動（入間市 緑の森博物館）

■令和6年6月23日（日）雨天のため活動中止

■令和6年7月28日（日）下草刈り

動力参加者5名、手作業参加者6名の計11名の参加で、6月に雨で中止となったドングリ植樹地斜面上部の下草刈りを行った。林床はアマネザサに覆われているが、以前に植樹したコナラ、クヌギ等は立派に大きくなっている。散策路沿いをメインに下草刈りをすすめ、枯れ枝、落ち枝を片付け、支障枝や株立ちになっている萌芽枝の整理も行った。

活動後は細金会員からスイカの差し入れがあり、甘いスイカの水分が火照った身体に沁みわたった。有難うございました！

〈緑の森博物館担当 No.768 武藤光盛 所沢市〉

写真左 木に登り、支障枝の整理
写真右 差し入れのスイカを味わう

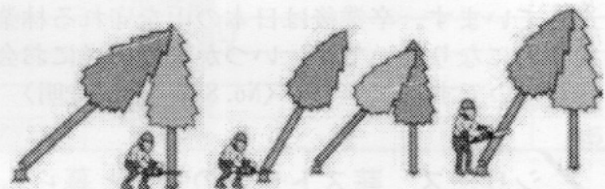


一 林業労働災害の防止対策一

皆さんは、林業における労働災害の発生率が他のどの産業よりも高いことをご存知でしょうか？その発生率は全産業の平均と比べると、なんと約10倍です。令和4年度に全国で発生した林業における労働災害は1,176人、そのうち死亡災害は28人でした。この死亡災害の約5割は伐木作業中に発生しています。そこで、今回は死亡災害が発生しやすい伐木作業のうち、かかり木の処理について紹介します。ぜひ御一読いただき、事故無く作業を行いましょう。

【危険な作業】

以下の作業方法による事故が発生していますのでやめてください。また、放置されたかかり木が落下して事故が発生していますので、かかり木の放置は危険です。すぐに処理できない場合はロープを張っておく等の立入禁止の措置をしておきましょう。



①かかられてい ②浴びせ倒し ③元玉切り
る木の伐倒

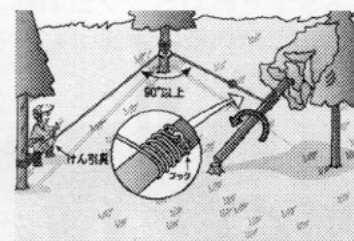


④肩担ぎ ⑤かかっている木の枝切り

【安全な処理方法】



①直径20cm未満で容易にかかりき外せる場合木回しやフェリングレバー等を使って、樹幹を回したり、元口を回したりして、外します。



②上記以外の場合けん引具等を使用し、外します。

（イラスト
林業・木材製造業労働災害防止協会提供）

埼玉県農林部森づくり課

会員発言

皆さん、お久しぶりです。昨年は皆様には大変お世話になりました。僕は今年4月から山梨県にある農林大学の森林学科に通っています。この森林学科は2年前にできたため、最新の設備が整っていて、座学は森林総合研究所の方、実習は森林組合の方などが教えてくれます。資格取得等で外部機関へ行くことも多く、8月現在で、高性能林業機械等の9種類の資格を取得しました。卒業までには20種類以上の資格を取得予定です。住居は学校指定の団地で、食事は自炊で、昼も弁当を持参しています。クラスメイトは僕を含めて7名で、埼玉県ときがわ町出身者もいます。平日の授業や実習は厳しい事もありますが、休日にはクラスメイト達とキノコ狩りや魚釣りへ行くこともあり、毎日忙しくも自然の中で充実した生活を送っています。卒業後は日本の山を守れる林業従事者になりたいです。いつかまた皆様にお会いしたいです。
〈No. 832 福田俊明〉

シリーズ 薪ストーブの魅力と暮らし

第46話『非常時での薪ストーブ』

8月8日、気象庁から南海トラフ地震臨時情報の発表がありました。(この記事を書いているのは8月13日、その後何事も起きていないことを祈ります)地震に限らず自然災害が起きると電気が止まってしまうことがあります。電気が無いと照明、調理、湯沸、暖房などに困りますが、薪ストーブがあると薪を燃やしての灯り、調理や湯沸、そして暖を取ることは確保できます。東日本大震災の時には計画停電が実施されましたが、そんな時でも薪ストーブの存在は心強く実際に生活に重宝しました。聞くところによると東日本大震災以降に薪ストーブの注文は増加しているそうです。又、薪ストーブは鉄の箱の中の薪が燃えているだけで、ガスや灯油と違い爆発や延焼することはありませんので、考えようによっては扱いやすいものだと思います。ただ平時においては近隣に対して煙や臭いの心配がありますので、その方が要注意でしょうか？

〈No. 30 木島浩 寄居町〉

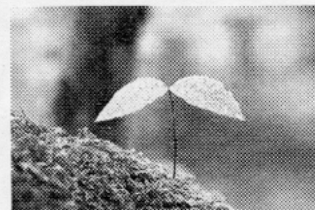


森林の雑学

地球環境と「鉄」の役割

-光合成-人間などの動物は、他の動植物を食べることでエネルギーを得て生きています。しかし、植物は光を利用してエネルギーを作り出すシステム「光合成」をもっています。光合成が出来るのは植物や藻などの生物だけであり、基本的に動物は光合成ができません。しかし牛や豚、鶏などの家畜も、植物を元にした飼料を食べて生きていますから、私たち人間が生きていくために必要な食べ物も、植物による光合成によってもたらされています。地球上の全ての生物の命を支えているのが、光合成の働きです。

-葉緑素と鉄-光合成は、主に植物の葉で行われており、葉に光が当たると糖が作られます。光合成は葉の中の細胞の一つである葉緑



素で行われています。動物が光合成を出来ないのは、この葉緑素を細胞内に持っていないためです。葉緑素は光エネルギーを受け取って、糖などの植物にとって必要なエネルギーを生産する役割をしています。この葉緑素をチツソ栄養から作る過程では、「鉄による化学反応」が必要になります。鉄が無いと葉緑素が作れなくなり、光合成も出来なくなってしまいます。人間にとっても鉄は重要な働きをしています。鉄は酸素を血液に結合させて体の隅々に運んで渡して炭酸ガスを受け取って、肺に戻って炭酸ガスを外に出しています。人間も鉄分が無くなると呼吸が出来なくなって死んでしまうのです。

-地環境の形成-地球全体の物質は、鉄が34%、酸素30%、ケイ素15%、マグネシウム13%なので地球は鉄の惑星とも言われています。生命が誕生した約40億年前の原始地球の、大気の成分は主にCO₂、窒素、水蒸気で酸素はほとんど存在しませんでした。約27億年前、葉緑素を持った光合成微生物が海洋で誕生し、初めて酸素を出す光合成を行いました。その結果、大気中に酸素が徐々に放出され、植物が地上に現れると大気中の酸素濃度は増大し、現在の21%に至っています。そして現在の地球環境が形成され、動植物の生命が支えられています。これらの植物に「鉄」は無くてはならないものなのです

〈No. 660 小室正人 さいたま市〉

◇ 令和6年度会費納入のお願い

会費納入を下記の郵便振込にお願いします。

口座番号 00120-2-407239

加入者名 NPO法人埼玉森林サポータークラブ

年会費 3千円

◇ 全国植樹祭の日程決定

全国植樹祭の日程が令和7年5月25日(日)に決定しました。前日には準備・リハーサル等が行われます。

サポータークラブは、行事の支援を行うことになっています。前日及び当日の両日、参加できる方を対象として参加をお願いします。参加される方は予め登録が必要ですのでよろしくお願い致します。

【森林の話 森林と人類】

人類の祖先である原人は、200万年前に誕生したといわれます。森林の中で生まれた人類は、木材を燃料とできたため、幾回かの水期も生き延び現在に至っているといわれます。

森林での生活は、動物や魚類の狩猟と植物の採集による生活をしてきたものと思われています。現代も狩猟・採集を主とする生活する民族を調査した結果、食事内容は、植物食：60-70%、肉・魚：30-40%でほぼ共通で、採集される植物種数は極めて多く栄養的にも優れているようです。しかしながら、狩猟採集の生活は、安定した食糧の確保は大変なものであったと思われています。そこで、約1万2000年前頃から農業が始まったといわれています。その結果、農地の確保のため森林の伐採がはじまり、道具の開発など安定的食糧の供給をもたらす、やがて富の蓄積などへと進み、各地に文明をもたらしたといわれます。こうして、森林の伐採が進み、人類は森林との関係が薄い生活となっていったと思われています。そして、生活基盤としての町が形成され、森林と更に切り離されてきました。

さて、現在、地上の動物の内人間と家畜が90%（重量比）を占め、人類は名実ともに地球の支配者となっています。そして、森林は地球の陸地の1/3まで減少しています。地球にはまだまだ森林が残っていると見るか、もっと増やした方が良いと考えるかは人それぞれだとは思いますが、人類は誕生してから、森林の中で暮らしていたことから森林についての幾多の経験をその遺伝子に持っていると思いますので森林を大切に思う人が多いと思いますが・・・。

〈No. 719 玉熊英一 さいたま市〉

【夏季研修会補足資料＝

足尾銅山と松木地区の歴史】

- 790年(延暦9)この頃、勝道上人の弟子慧雲が松木に住み、草庵方等寺を建てたと伝えられる。
- 1315年(正和4)足尾草分けの五姓(斎藤、神山、星野、倉沢、亀山または細内)が来住したと伝えられる。
- 1550年(天文19)足尾銅山がすでに発見されていたとする記録あり。
- 1610年(慶長15)備前国の農民、治部と内蔵が黒岩山(備前楯山)で銅を発見したと伝えられる。
- 1611年(慶長16)足尾銅山が江戸幕府の直山となる。
- 1877年(明治10)古河市兵衛が足尾銅山の操業を始める。
- 1884年(明治17)銅山の発展とともに直利橋製錬所が新設され、この頃から煙害(製錬するときに出る亜硫酸ガスによる被害)のため松木旧三村の被害が大きくなる。
- 1887年(明治20)四月、松木から山火が発生し大火となる。
- 1891年(明治24)足尾銅山鉱毒問題について、田中正造が帝国議会で初めて質問を行う。
- 1893年(明治26)ベッセマー式製錬法の導入により銅生産が増えるとともに煙害も増加した。
- 1897年(明治30)鉱毒予防工事命令により、製錬所に煙害除去を目的とする脱硫塔などが完成したが、煙害は以前よりひどくなった。
- 1900年(明治33)松木村民は栃木県議会などに対し、「人命救助請願」を提出した
- 1902年(明治35)松木住民24戸が古河と移転で合意し松木村は廃村となる。
- 1954年(昭和29)足尾砂防堰堤が完成する。
- 1956年(昭和31)松木地区を中心に本格的な治山工事が始まる。
- 1973年(昭和48)足尾銅山閉山。
- 1989年(平成元)足尾銅山製錬所が事実上の操業停止となる。
- 2006年(平成18)市町村合併により「日光市足尾町」となる。

■入会のご案内

私達の活動は、多くの人々のご協力によって支えられています。ご賛同・ご支援を宜しくお願いします。

- ・入会金：個人 2,000円／団体 10,000円
- ・年会費：個人 3,000円／団体 10,000円
- ・賛助会員：年会費一口 5,000円

編集後記

「NPO埼玉森林サポータークラブ」の前身である「森林サポータークラブ」が発足された平成9年より継続して活動に参加しています。参加年数は長いですが参加回数はさほど多くなく、細く長く無理のない範囲で活動しています！

(No. 30 木島浩 寄居町)

活動スケジュール (2024年10月・11月・12月・2025年1月)

月日	曜日	フィールド	活動内容	集合場所
10月5日	土	寄居風布の森	間伐:手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
10月6日	日	ときがわの森	手)伐木研修、機)間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
10月12日	土	笠幡の森	手)枝条整理、機)笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
10月13日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐:手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
10月19日	土	越生ふれあいの里山	オークネット活動支援	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
10月20日	日	くるみ小屋	下草刈り:手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
10月26日	土	桶川・加納屋敷林	手)竹林間伐、機)下草刈り	桶川市加納436
10月27日	日	緑の森博物館	下草刈り:手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
11月3日	日	ときがわの森	手)枝打ち、機)間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
11月4日	月	寄居風布の森	間伐:手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
11月9日	土	鷹ノ巣の森	手)枝打ち、機)除伐	小川町鷹巣680 現地
11月10日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐:手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
11月16日	土	笠幡の森	手)枝条整理、機)笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
11月16日	土	熊谷ドーム周辺	食と農林業ドリームフェスタ	熊谷市上川上300 熊谷スポーツ文化公園
11月17日	日	熊谷ドーム周辺	食と農林業ドリームフェスタ	熊谷市上川上300 熊谷スポーツ文化公園
11月17日	日	龍ヶ谷の森	下草刈り:手)、機)共	越生町大字大満257 大満農村広場
11月23日	土	浄国寺の森	林内整備:手)、機)共下草刈り	さいたま市岩槻区加倉1-25-1
11月24日	日	くるみ小屋	除伐:手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
11月24日	日	緑の森博物館	下草刈り:手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
11月26日	火	越生町	梅園小支援(つる切・除伐)	越生町観音山頂上無名戦士の墓公園駐車場
11月28日	木	越生町	(予備日)梅園小支援	越生町観音山頂上無名戦士の墓公園駐車場
11月30日	土	寄居風布の森	間伐:手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
12月1日	日	ときがわの森	手)枝打ち、機)間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
12月4日	水	さいたま市	第2回理事会	さいたま市
12月7日	土	黒山の森	除伐:手)、機)共	越生町黒山771
12月8日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐:手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
12月14日	土	笠幡の森	手)枝条整理、機)笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
12月15日	日	くるみ小屋	餅つきほか	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月3日	金	くるみ小屋	安全祈願ほか	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月4日	土	緑の森博物館	安全祈願ほか	所沢市糞谷78 糞谷八幡神社
1月11日	土	笠幡の森	手)枝条整理、機)笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
1月12日	日	越生ふれあいの里山	梅小準備・間伐・除伐	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
1月15日	水	越生町	梅園小支援(間伐)	越生町立越生中学校駐車場
1月18日	土	江戸屋弘東園	落ち葉掃き	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園駐車場
1月19日	日	くるみ小屋	除伐:手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月25日	土	江戸屋弘東園	(予備日)落ち葉掃き	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園駐車場
1月28日	火	越生町	(予備日)梅園小支援	越生町立越生中学校駐車場

※活動予定は、中止や変更することがあります。その節は一斉メールにてお知らせいたします。締め切り後に参加する時や、申込んだが当日欠席する時は事務局まで連絡を！直前の当日欠席は世話役まで連絡を！

※集合時間は8時30分です。支度をして集合して下さい。

拠点フィールドのご案内

■ときがわの森 (ときがわ町)

毎月第1日曜日活動 (担当: 山根義之・岡田豊国)

■越生ふれあいの里山 (越生町)

毎月第2日曜日活動 (担当: 平井崇詞・鈴木久代・樽石亜由美・菊池修一郎)

■緑の森博物館 (入間市)

毎月第4日曜日活動 (担当: 武藤光盛・岡田 了)

埼玉森林サポータークラブ・コミュニケーション・ニュース 2024年10月1日発行 (年4回発行)

■発行: 特定非営利活動法人 (NPO法人)

埼玉森林サポータークラブ

■発行責任者: 霜触 賢 ■編集リーダー: 沢田 正

■編集スタッフ: 木島 浩・北村 博・梶田 力・小室 正人・利根川雅実・香取由美・樽石亜由美・菅家征史・小坂博美・伊東喜尋・片野健一・菅谷 榮・岡田豊国・平井崇詞・藤井俊文・玉熊英一

■事務局: 〒330-0063埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9 農林会館B1 TEL. 048-814-2770

<事務局開設日: 月・水・金> 10時~15時

■事務局メールアドレス

info@shinrin-supporter.org

■ホームページアドレス

http://www.shinrin-supporter.org/